かみかわ町

議会だより

No.78
令和７年
６月１日発行

この町は　あなたが住む町　つくる町　神川町議会

令和７年 5月 臨時会

新議長・副議長等が決まる…… P.13

令和７年 3月 定例会

令和７年度の新規事業…… P.2～4
６名の議員が一般質問を行う…… P.5～8

議会の傍聴について

第４回の定例会は**６月**

4 日㈬［午前９時～　一般質問］から

13 日㈮［午前９時～　質疑・討論・採決等］

を予定しています。

感染症等の発生時には、議会の傍聴人数を制限する場合がありますので、ご了承ください。

表紙の写真　三波石峡

撮影　フォーカス友の会　馬場みつ江さん

表紙シリーズ　町内の風景写真

かみかわ町議会だよりはユニバーサルデザインフォントを使用しています。

2 安全で快適に暮らせるまちづくり

❶ 町営バス更新整備事業：予算額795万円

町営バスの耐用年数経過に伴い、車両部品の劣化や機器類の故障が多発していることから、車両の買い替えが行われます。

町 営 バ ス

❷ 急速充電器更新事業：予算額111万円

庁舎駐車場に設置してある自動車用急速充電器は老朽化のため撤去され、新たな事業者が急速充電器を設置します。

出典：国交省（HP電気自動車等の普及に向けた道路環境整備）

3 健康で安心に満ちたまちづくり

❶ 女性の健康づくり事業：予算額９万円

女性特有の健康課題に対して、同じ悩みを共有できるコミュニティ参加型の教室等の開催。

❷ 後期高齢者医療人間ドック助成事業：予算額200万円

令和７年度から予算拡大。人間・脳各ドック５千円、併進ドックは１万円の増額。生活習慣病等の早期発見、予防強化のために受検者の増加、検診率アップを目指します。

出典：埼玉県国民健康保険団体連合会HPより

議会が注目

令和７年度 新規事業

1 安心できる子育てと生涯の学習を生かすまちづくり

❶ 認定こども園整備事業：予算額５億9,049万円

神川幼稚園を改修し、認定子ども園の整備が進みます。
（総額９億円のうちの令和７年度分）

❷ 保育料完全無償化事業：予算額1,935万円

０、１、２歳児の保育料無償化、この事業により全年齢の保育料完全無償化が実現。保護者の経済的な負担軽減と子どもを産み育てやすい環境の充実を図ります。

❸ 部活動指導員導入事業：予算額235万円

専門的な知識・経験を有する多様な地域人材を部活動指導員として３名が配置されます。

❹ 合併20周年記念事業：予算額102万円

旧神川町と旧神泉村の合併20年を記念に式典を実施します。

❺ 給食センター食器購入事業：予算額320万円

12年間使用していた食器の更新を行います。（Ｒ６年度からの２ヵ年事業）

❻ タブレット端末及び学習支援教材等更新事業：予算額4,664万円

GIGAスクール構想（児童生徒１人１台端末）に基づき整備したタブレットが更新時期となります。

出典：文科省（GIGAスクール構想の実現へ）

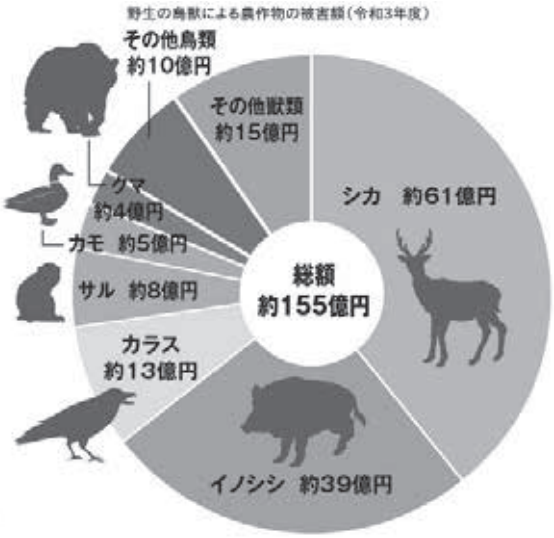
人を育てて　まちが育つ

4 活力に満ち元気に働けるまちづくり

❶ 鳥獣被害防止対策補助事業：予算額１万円

「神川町鳥獣被害防止対策協議会（仮称）」が設立され、団体に対し有害鳥獣捕獲許可に基づき捕獲された野生鳥獣の捕獲活動費を支援します。

※団体：児玉猟友会神川支部



※その他鳥類とは、ヒヨドリ、スズメ、ムクドリなど
※その他獣類とはアライグマ、ハクビシン、タヌキ、カモシカなど
出典：「全国の野生鳥獣による農作物被害状況について（令和3年度）」農林水産省

5 町民と行政が協働し希望に満ちたまちづくり

❶ 廃校を活用した就労支援事業：予算額381万円

渡瀬小学校跡地を活用し、ＩＴ技能のスキルアップセミナー及び就労支援を実施します。本格的な利活用協議も今後進めていきます。

❷ ペイジー口座振替受付サービス事業：予算額199万円

税務課窓口にて金融機関のキャッシュカードと暗証番号で町税等の口座振替申込みができるサービスの導入をします。

その他：物価高騰対策
❶水道料減免事業　予算額3,132万円

物価高騰対策として、世帯あたり４か月分の水道基本料金を減免します。

町政を問う ～ 一般質問 ～

どの質問に興味がありますか?

P.6 「神川の梨」と農業振興
P.6 神川町立地適正化計画
P.6 中学校体育館、武道館の空調整備
P.6 活力ある地域づくり
P.7 消滅可能性自治体脱出の施策は！
P.7 農業振興地域整備計画の変更等に関する提案
P.8 子どもたちが安心して生活できる学級づくり
P.8 自治体ＤＸ
P.8 包括的性教育

定例会の概要

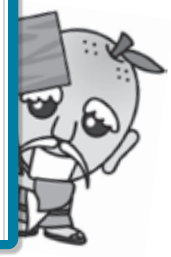
令和７年第２回定例会は、３月４日から18日までの15日間の会期で開かれ、町政に対する「一般質問（※１）」の他、町長から提案された令和７年度一般会計及び特別会計の当初予算８件や、補正予算５件をはじめ、条例改正14件、人事案件等５件を審議し、原案のとおり可決・同意・承認しました。

また、陳情書３件は採択し、議員提案の議案及び意見書も可決されました。（議案一覧及び審議結果は９ページ以降をご覧ください。）

「一般質問」とは（※１）

議員が町の施策、将来展望等の説明を町長などに求め、適切な町政運営を行っているかチェックするものです。

一般質問の全文は、議会事務局の会議録で閲覧することが出来ます。また、町ホームページの神川町議会からも閲覧できます。



川浦　雅子 議員

Q 「神川の梨」と農業振興

農業を考える

禁止されている梨剪定枝の屋外焼却に代わる、粉砕機購入や小山川クリーンセンター搬入は経済面や作業面での負担増になるため、枝を炭にして農地利用する取組みなど、農業者との意見交換の場を増やす考えはあるか伺う。

A 町長答弁

以前は焼却処分を実施した時期もあったが、環境問題等の観点から、町ではクリーンセンター搬入やチッパー使用等の指導を行っている。農業分野の様々な課題解決に向け、今後、担い手農家さん等との意見交換会の場を設けていく。

Q 神川町立地適正化計画

住み慣れた地域で…

この計画は、人口減少のため、都市経営が効率的に行われるよう居住誘導区域を定め、災害リスクの高い地域は含まないという内容だが、区域外への町の施策に差が生じるのか伺う。

A 町長答弁

本計画は都市計画区域を対象とし、旧神川町が対象で第2次総合計画との整合を図りつつ、住宅施策等を推進するもの。区域外もこれまでと同様の環境整備に努めていく。

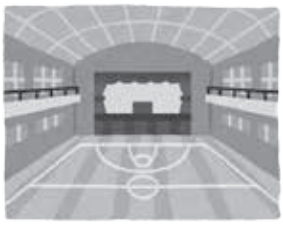
Q 中学校体育館、武道館の空調整備

体育館にエアコンを！

国は、子供たちの学習の場であり、災害時には避難所となる学校、体育館等について、空調設置を促している、国の整備費補助を活用した、中学校体育館、武道館の空調整備について伺う。

A 町長答弁

避難所の機能強化と生徒の日常使用の環境整備の点から考えると、中学校体育館への空調整備の必要性は高いと考える。国の政策と合わせ、補助金等の活用を考慮し、耐震性・耐熱性等を勘案し前向きに検討する。



新井　太一 議員

Q 活力ある地域づくり

気兼ねなくお出かけできるシニアカーの普及を！

高齢者や、体の不自由な方の外出する機会が少なくなると社会的孤立が生まれ、心と体の両方に悪影響を及ぼすことになる。

ちょっとそこまでのお買い物や、友達の家に遊びに行く、また、足が痛くて散歩は出来ないけれど、シニアカーに乗って近所を散策する事が気軽に出来るよう、自動車免許を返納した方や、高齢者、体の不自由な方に、車両購入費の助成をし、多くの方にシニアカーを活用してもらえるような施策が必要と考える。これにより、健康で自立した生活をおくり「気兼ねなくお出かけできる」ようになるが町の考えを伺う。

A 町長答弁

高齢者の移動手段の確保は、高齢者が自分らしく、自立した生活を送るうえで重要であると考えている。

シニアカーは購入費が高いものの、運転免許証が不要で、手軽に操作ができることから、近距離の移動手段として有効であると承知しているが、現在、町では外出支援タクシー利用金助成やデマンド交通事業等の外出支援策を行っていることから利用状況などをよく研究する必要があり、また、補助事業としての費用対効果や併せて交通面からの安全性も考慮し、慎重に検討したい。

坂本　貴佳 議員

Q 消滅可能性自治体脱出の施策は！

令和7年度一般予算編成方針について

全国的にインフラの老朽化問題・教育支援の大幅拡大等、大きな動きがあるが、神川町の現状は消滅可能性自治体からの脱却も大事な課題となる。

令和7年度度の予算編成に関し、何を集中的に計画したのか、また、消滅可能性自治体脱却は単年では難しいが、限りある予算の慎重な運営のなかで、スピード感ある施策が必要と考える、今後、永続的に神川町が生き残る手段として、長期的視野に立って何を講じていくのか、町の考えを伺う。

A 町長答弁

令和7年度一般会計当初予算は、消滅可能性自治体の指標になる、若年層世代の定住支援として保育料完全無償化、町営の認定こども園整備事業、子育て支援特設サイト開設、在宅ワーク希望者を対象に就労機会の拡充、廃校を活用した就労支援事業等を予算計上している。

また、町づくりアンケートのご意見、総合計画審議会のご意見を伺い、人口減少対策である第3期神川町総合戦略の策定を進め、町としては、若年層の減少率に限定することなく、町全体の人口減少という課題に対しても向き合っていく。

出典：厚生労働省（平成２７年白書より）

福島　康弘 議員

Q 農業振興地域整備計画の変更等に関する提案

戦略的な地域振興に向けて

人口減少に歯止めをかけるには、地域実情を反映させた土地利用を計画的に行い、積極的な企業誘致、産業発展、雇用創出が必要で、農工商のバランスの取れた地域経済活性化が重要と考える。

農業振興地域整備計画の変更には、県知事の同意を必要とする現行制度では、地域の実情を反映できず、まちづくりに支障が出ている。整備計画の変更等について、一定規模面積以下及び一定要件の変更については、県から町へ権限移譲できるよう、国、県に提案する考えがあるか伺う。

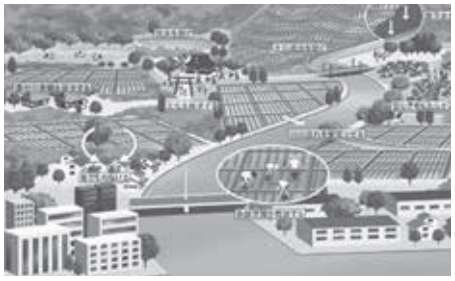
なお、町が抱える問題を内閣府に提案する仕組みがあるが、同様の問題を抱える郡市と共同して提案する考えもあるか伺う。

A 町長答弁

町では、優良農地の確保を目的とした農業振興地域整備計画を策定している。指摘のとおり、この計画の策定・変更は、農業振興地域の整備に関する法律、農地法などが関わることから、県知事の同意が必要となっている。

現在、町の農地の多くが農用地区域に指定され、企業誘致に支障が出ている。そのため、これまでも県知事に対し企業誘致に向けた農用地区域の変更について緩和の要望をしているが、優良農地確保の観点等、難しいとの回答を得てきている。

なお、内閣府への要望提案募集については、町単独ではなく、郡市または町村会等を通じて提案を検討していく。



出典：農林水産省（農村の有する多面的機能より）

剣持　真菜美 議員

Q 子どもたちが安心して生活できる学級づくり

不登校対策実行性の確保について

令和6年3月の定例会で教育長は、4月から「子供たちが安心して生活できる学級づくり」を第1目標に本格的に取り組む方針を示した。この方針の下、具体的な取組体制や不登校児童生徒数の変化について伺うとともに、子供たちの安心感向上や行き渋りの変化に対する認識と支援策について併せて伺う。

A 教育長答弁

令和6年度、町は「子供が安心して生活できる学級づくり」に向け、学級経営の充実（※）を図り、夏季休業中には教職員向け研修を実施し、各校では特別活動を活用した取組を推進。また、欠席児童生徒の把握と、段階に応じた支援を強化。神川中学校では「ステップアップルーム」を設置し、個別対応を実施。さらに、端末を用いた心の健康観察を導入した。その結果、不登校児童生徒数は減少傾向にあり、取り組みの効果は出ている。今後も学級経営の充実に向け支援を行っていく。

出典：文部科学省（学びの多様化より）2

※学級経営の充実とは…（児童生徒一人一人の人権が守られ、いじめや暴力のない、誰もが安心して学習できる環境を児童生徒と教職員全員でつくること。）

出典：文部科学省（学びの多様化より）1

赤羽　奈保子 議員

Q 自治体DX

DXの更なる充実を！

議会においても、タブレット端末導入でペーパーレスなどの成果が出ていると思っているが、役場庁内での成果はどうか？

また、さらなる役場庁内のDXの取組み、そして、町民の皆さんがDXのメリットを実感できる取組みを、今後どのように行っていくのか伺う。

A 町長答弁

近年多様化する町民ニーズに対し、町のDX推進の代表的なものとして、コンビニ証明書交付サービスや、書かない窓口システムによる申請書作成支援の導入等を行い利便性の向上を図っている。

今後の町のDX推進については、既存システムの運用を継続しながら、手軽に利用できる電子申請手続を拡充していく。また、IT相談やスマートフォン教室等、デジタルディバイド対策を進め、デジタル化の恩恵を誰もが享受できるまちづくりを進める。

出典：総務省（地域におけるDXより）

Q 包括的性教育

包括的性教育での生命の大切さ

包括的性教育とは、生殖器官や妊娠についてだけの知識ではなく、多様性、性暴力防止等も含めた性教育のことだが、町の各小中学校での取組みを伺う。

また、まちの保健室的な役割を担うユースクリニックを、コスモス祭りなどのイベントで開催したり、近隣のユースクリニックの広報を行うなど、若い世代に正しい知識を身につけてもらうことや、気軽に相談できる場所があることが大切だと考えるが、町の見解は？

A 町長答弁

町では毎年、保健師が中学校3年生を対象に、命の大切さや思春期の心と体の変化について講演を実施している。ユースクリニックについては、様々な悩みを持つ子供や若者の相談先として近隣の開催場所を周知するとともに、町イベントでの性関連用品等のブース展示についても検討していく。

A 教育長答弁

性教育については、小学校では保健授業、中学校では保健体育において発達段階に沿った教育を実施している。

今年度は、中学校においてユースクリニックを開催予定で、性に関する絵本やフェムケア資料の展示や、希望者には外部講師による性に関する悩み相談を予定。なお、性に関する指導は、配慮を要する分野となるため、今後も児童生徒の発達段階に合わせた包括的性教育について研究していく。

３月定例会議案一覧及び審議結果「予算」

	議　案　名　等	審議結果
町長提出議案	**令和６年度神川町一般会計補正予算（第９号）** 令和６年度の総事業費確定に伴い、歳入歳出各２億１，４２５万８千円を減額し、補正後総額を歳入歳出各６２億６，８１９万円とする。	○
	令和６年度神川町国民健康保険特別会計補正予算（第５号） 歳入歳出各１，３５６万２千円を増額し、補正後総額を歳入歳出各１６億１，２４７万４千円とする。	○
	令和６年度神川町後期高齢者医療特別会計補正予算（第３号） 歳入歳出各２４８万円を減額し、補正後総額を歳入歳出各１億８，３８５万４千円とする。	○
	令和６年度神川町介護保険特別会計補正予算（第５号） 歳入歳出各１２４万２千円を減額し、補正後総額を歳入歳出各１２億９１６万６千円とする。	○
	令和６年度神川町下水道事業会計補正予算（第４号） 予算第３条の収益的支出の予定額を１億２，１６０万５千円とする。	○
	令和７年度神川町一般会計予算 認定こども園整備事業や保育料完全無償化をはじめ安全で快適に暮らせるまちづくりのための予算を計上。歳入歳出総額それぞれ６９億９，８００万円と定める。	△
	令和７年度神川町国民健康保険特別会計予算 予算の総額を歳入歳出それぞれ１４億７，１８８万４千円と定める。	△
	令和７年度神川町後期高齢者医療特別会計予算 予算の総額を歳入歳出それぞれ１億８，１０４万７千円と定める。	△
	令和７年度神川町介護保険特別会計予算 予算の総額を歳入歳出それぞれ１１億１，０６８万８千円と定める。	△
	令和７年度神川町営バス事業特別会計予算 予算の総額を歳入歳出それぞれ２，７０９万７千円と定める。	○
	令和７年度神川町観光事業特別会計予算 予算の総額を歳入歳出それぞれ１，７００万３千円と定める。	○
	令和７年度神川町水道事業会計予算 第３条予算の水道事業収益的収入を３億２１万４千円、水道事業支出を２億９，９１０万２千円と定め、第４条予算の資本的収入を１５４万円、支出を８，４２８万８千円と定める。	○
	令和７年度神川町下水道事業会計予算 第３条予算の水道事業収益的収入を１億３，４７６万２千円、事業支出を１億２，７１５万７千円と定め、第４条予算の資本的収入を４，４６２万９千円、支出を９，４５５万７千円と定める。	○

※【審議結果】○全員賛成（可決）　△賛成多数（可決）　×賛成少数（否決）

３月定例会議案一覧及び審議結果「条例」

	議　案　名　等	審議結果
町長提出議案	**神川町犯罪被害者等支援条例** 犯罪被害者等の支援に関する施策を総合的に推進する条例を整備する。	○
	神川町廃校施設の設置及び管理に関する条例 廃校となる渡瀬小学校の今後の使用に関して必要な条例を整備する。	○
	神川町営バス条例の一部を改正する条例 道路運送法の一部改正に伴い、所要の改正を行う。	○
	地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例 地方自治法の一部を改正する法律の一部改正に伴い、所要の改正を行う。	○
	神川町職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例 人事委員規則の一部改正に伴い、所要の改正を行う。	○
	神川町職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例及び神川町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例 次世代育成支援対策推進法等の一部改正に伴い、所要の改正を行う。	○
	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例 刑法等の一部改正に伴い、所要の改正を行う。	○
	一般職の職員の給与に関する法律等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例 一般職の職員の給与に関する法律等の一部改正に伴い、所要の改正を行う。	○
	神川町阿久原簡易郵便局切手類購買基金条例の一部を改正する条例 郵便料金の改定に伴い、所要の改正を行う。	○
	神川町Ｂ＆Ｇ海洋センター条例の一部を改正する条例 海洋センタープール跡地施設の整備に伴い、所要の改正を行う。	○
	神川町ひとり親家庭等の医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例 ひとり親家庭等医療費の現物給付化等に伴い、所要の改正を行う。	○
	神川町非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例 消防団員等公務災害補償等責任共済等に関する法律施行令の一部改正に伴い、所要の改正を行う。	○

※【審議結果】○全員賛成（可決）　△賛成多数（可決）　×賛成少数（否決）

３月定例会議案一覧及び審議結果「陳情、議員提出議案等」

	議　案　名	審議結果
町長提出議案	**神川町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例及び神川町家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例** 子ども・子育て支援法施行規則等の一部を改正する内閣府令の施行に伴い、所要の改正を行う。	○
	神川町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 一般職の職員の給与に関する法律等の一部改正に伴い、一般職員と同様に所要の改正を行う。	○

	議　　案　　名	審議結果
町長提出議案	**人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて** 四方田勉氏の任期満了に伴い、町長から鈴木幸治氏の推薦案が提出され、満場一致で同意されました。	○
	児玉郡市及び深谷市における公の施設の相互利用に関する協議について	○
	町道路線の廃止について 路線の組み替えにより、町道を廃止する。	○
	町道路線の認定について 道路敷地の払下げや路線の組み替えにより町道として認定する。	○
	専決処分につき承認を求めることについて（令和６年度神川町一般会計補正予算（第８号）） 物価高騰対応に係る令和６年度神川町一般会計補正予算（第８号）を承認する。	○
陳情	**町道の舗装工事について** 総務経済常任委員会は「全会一致」で採択し、本会議も採択になりました。	○
	町道の舗装について 総務経済常任委員会は「全会一致」で採択し、本会議も採択になりました。	○
	「安心・安全の医療・介護の実現のため人員増と処遇改善を求める」意見書を国に提出することを求める陳情	○
議員提出議案	**神川町議会議員の議員報酬等の特例に関する条例**　（Ｐ１２参照）	○
	神川町議会会議規則の一部を改正する規則	○
	神川町議会委員会条例の一部を改正する条例	○
	神川町議会個人情報保護条例の一部を改正する条例	○
	安心・安全の医療・介護の実現のため人員増と処遇改善を求める意見書（Ｐ１２参照）	○

※【審議結果】○全員賛成（可決）　△賛成多数（可決）　×賛成少数（否決）

各議員の賛否の状況（全員賛成の議案等を除く）

議案名等と各議員の賛否 賛成：○　反対：×		1 剣持真菜美	2 新井 太一	3 四方田繁男	5 福島 康弘	6 川浦 雅子	7 野口 弘吉	8 坂本 貴佳	9 堀川 光宣	10 赤羽奈保子	12 柴崎 愛子	議決等の結果
町長提出議案	令和７年度神川町一般会計予算	○	○	○	○	×	○	○	○	○	－	可決
	令和７年度神川町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	×	○	○	○	○	－	可決
	令和７年度神川町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	×	○	○	○	○	－	可決
	令和７年度神川町介護保険特別会計予算	○	○	○	○	×	○	○	○	○	－	可決

※ － 柴崎愛子議長（議事進行）は採決に加わりません。

意見書について (P11の議案関係)

「安心・安全の医療・介護の実現のため人員増と処遇改善を求める意見書」については、昨今の災害時などに照らしても、平時からの医療等の提供体制の安定化は不可欠となっている、このため神川町はもとより全国的な課題解決のためにも、国の関係機関に継続的にその必要性を訴えていく事が必要と考え、町議会として、内閣総理大臣等への要望を行いました。

議員報酬の特例に関する条例について (P11の議案関係)

神川町議会議員の議員報酬等は条例に基づき支給をされているが、町議会の会議等を長期欠席した場合の規定がないことから、議会議員の職責に鑑み、長期欠席した場合の支給の一時差し止め及び不支給について、このあり方を明確にする必要があると判断し、新たに議員報酬の特例に関する条例を提案しました。

活動報告

児玉郡町議会議員 後期研修会

令和７年１月22日（水）児玉郡３町の議員による後期研修会が実施され、地方から国への政策提案について、内閣府職員を招いて研修を実施しました。今後のまちづくりを検討していくうえで有意義な研修となりました。

町議会 勉強会

令和７年１月31日（金）に「小学校の統合について」、また、２月28日（金）は「おかえり集学校（廃校活用等）について」それぞれ関係各課の職員から説明を受けました。

議員からは、今後の子どもの人数や、教育環境のあるべき姿を継続的に注視していかなければならない等の意見があり活発な勉強会となりました。

ギカイの視点!

将来の希望ある神川町にとって、今、何ができるのか、不断の協議が必要

臨時会を開催

議案審議の結果

◇5月臨時会

第3回臨時会は5月1日の1日間で開かれ、町長から提出の報告案件では、令和7年度の専決処分について審議され、承認されました。専決処分の内容については「神川町税条例の一部改正」および「神川町国民健康保険税条例の一部改正」となっています。また、議会側からは議長・副議長の選出をはじめ、委員会等の構成を行いました。さらに、監査委員（議会選出）も同意されました。

◇議会構成が新しくなりました（令和7年5月1日）

議　長
赤羽 奈保子

副議長
坂本　貴佳

◇総務経済常任委員会

委員長　野口　弘吉
副委員長　堀川　光宣
委　員　坂本　貴佳
〃　福島　康弘
〃　四方田　繁男

◇文教厚生常任委員会

委員長　新井　太一
副委員長　柴崎　愛子
委　員　赤羽奈保子
〃　川浦　雅子
〃　剣持真菜美

◇議会運営委員会

委員長　四方田繁男
副委員長　川浦　雅子
委　員　野口　弘吉
〃　福島　康弘
〃　新井　太一

◇児玉郡市広域市町村圏組合議会議員

赤羽奈保子
坂本　貴佳

◇監査委員（議会選出）

福島　康弘

◇議会だより編集委員会

委員長　新井　太一
副委員長　剣持真菜美
委　員　赤羽奈保子
〃　野口　弘吉
〃　福島　康弘

第3回臨時会議案一覧及び審議結果

	議案名等と主な内容	審議結果
町長提出案件	**専決処分につき承認を求めることについて** 神川町税条例の一部改正を承認する。	○
	専決処分につき承認を求めることについて 神川町国民健康保険税条例の一部改正を承認する。	○
	監査委員の選任につき同意を求めることについて 四方田繁男氏の辞職に伴い、町長から選任案が提出され、福島康弘氏が満場一致で同意されました。	○

※【審議結果】○全員賛成（可決）　△賛成多数（可決）　×賛成少数（否決）

議　会　活　動　報　告

総務経済常任委員会

令和７年３月11日（火）総務経済常任委員会を開催し、執行部から建設課職員の出席を求め、現地では陳情者立合いのもと、渡瀬、新里地内の「町道の舗装についての陳情２件」を慎重に審査しました。執行部からは「町全体の優先順位を考え検討したい。」との説明があり、採決の結果採択といたしました。

文教厚生常任委員会及び協議会

【委員会】令和７年３月10日（月）執行部より保険健康課の出席を求め、議会に提出された「安全・安心の医療・介護の実現のため人員増と処遇改善を求める」意見書を国に提出することを求める陳情について、審査しました。陳情にかかる意見書の内容については、地域の実情も確認しながら、抜本的な改善策については国や関係機関への訴えを継続していく事が重要であることなどから陳情を採択といたしました。

【協議会】同日、学務課の出席を求め「各学校のＰＴＡ活動と今後のあり方」について協議会を開催しました。現状のＰＴＡの活動内容や、組織図、活動のメリット、デメリット等について説明があり、今後の役員のなり手不足やＰＴＡ活動の強制性などの課題もあり、旧来の組織形態にこだわらず、時代に合った新しいＰＴＡの形を模索し、持続可能な活動が出来るよう協議しました。

スマホで議会！

スマホでＱＲコードを読み込むと「町ＨＰから神川町議会のページ」が閲覧できます。

９月定例会は、９月３日（水）から開催予定です。

編集後記

自宅の池の鯉が春に産卵し、小さなかわいい稚魚が孵化しました。この地に生まれたことに感謝しつつ「泳ぐ芸術品」の美しさを堪能しながら稚魚の成長を見守っていきます。

78号議会だよりは令和７年度予算審議や新規事業などを掲載しています。議会では、神川町の未来の活路となる前向きで発展的な議論が出来るよう臨んでいますので、ご一読ください。

お気づきの点はご意見をお願いします。

（新井太一）

議会だより編集委員会

・委員長　赤羽奈保子
・副委員長　川浦　雅子
・編集委員　野口　弘吉
　　新井　太一
　　剣持真菜美
・アドバイザー（議長）
　　柴崎　愛子
・新委員長　新井　太一
・新副委員長　剣持真菜美
・編集委員　赤羽奈保子
　　野口　弘吉
　　福島　康弘